

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスnicotto		公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		事業所内の部屋数が多く、適切な定員設定である		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		職員1名あたり、児童1～3名程度の割合で支援できており、適切である		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	部屋ごとに使用目的を明示し、利用児童全員が過ごしやすい環境づくりができています		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		児童送迎後は毎日清掃をしており、利用児童も活動内容に応じて部屋を使い分けられている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		部屋移動をする際には職員に声をかけるなど、自主性を尊重しつつも安全に配慮できている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		毎日朝夕2回の職員ミーティングを行っており、活動目的や支援意図、改善点の共有ができています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	必要に応じて、職員ミーティングの際に情報共有及び支援方針を検討している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		療育活動の発案や反省等、意見を発信しやすい環境が作られている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		開所から日が浅く着手できていない。今後積極的に取り組んでいく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2		開所から日が浅く、回数が少ない。今後積極的に取り組んでいく。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1		職員への周知をさらに強化する必要がある	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		入所契約時には親子それぞれにニーズを確認し、適切なサービス提供に繋がられている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	日ごとの利用者全員が楽しく、成長できるような支援計画が作成されている	開業から日が浅く、職員間の共通理解をさらに深めていく必要がある	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		支援方法や計画の共有など、職員間でさらに深めていく必要がある	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		業務日誌を活用しつつ、職員間で児童の様子や適切な支援を行うための意識共有ができていますと感じる		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		業務用ソフトを利用し、児童ごとに求められる支援項目を都度確認できるよう体制が整えられている	管理者が中心となって取り組んでいるので、職員全体で支援方法を検討していく体制を作っていく	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		毎日のミーティングの中で、職員全員が進めている		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節の特色に合わせた調理体験や施設外活動を行い、柔軟にプログラムを作成している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			役割分担に関しては、これから行っていく必要がある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		活動全体の講評だけでなく、児童ひとりひとりの様子や反応、気付きを共有できている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		開所から日が浅く現状着手していないが、今後意識的に取り組みたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		開所から日が浅く現状着手していないが、今後意識的に取り組みたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		開所から日が浅く現状着手していないが、今後意識的に取り組みたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		開所から日が浅く現状着手していないが、今後意識的に取り組みたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1		発達状況や課題については、さらに共通理解を深めていく必要がある
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		開所から日が浅く事業所として取り組んでいることは少ないが、今後意識的に取り組みたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用契約時には独自の重要事項説明書を作成・使用し、同意を頂いている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			保護者からの聞き取りの機会を増やしていきたい	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		開所から日が浅く現状着手していないが、今後意識的に取り組みたい	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			利用契約時に、苦情についての連絡先を共有している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			HPやinstagramを利用し、療育方針や活動内容、児童の様子を発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			利用契約時は、個人情報の取り扱いに関して説明と同意をいただき、各要望もお聞きしている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			イラストカードやジェスチャーを用いることで、発語の難しい利用児童との意思疎通を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		地域の方々に、放課後等デイサービスについての説明会を開催した	定期的な取り組みは行っていないので、今後地域の方々のご理解とご協力を得られるような取り組みを行っていく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	3			現在は職員が少なく、詳細なマニュアル作成には至っていないが、随時作成していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5				
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。					現在食物アレルギーのある利用児童はいない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1			研修やマニュアルの整備が十分ではないので、職員で共通認識を持てるように取り組んでいく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5				管理者が中心となって取り組んでいるので、職員全体への共有が必要
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1			職員間での共有について、さらに強化していく必要がある
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1			研修等を行い、さらに共通理解を深めていく必要がある
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1			職員間での共有について、さらに強化していく必要がある	